

## 関係機関と連携し、ヘルメットの大切さについて考えを深める事例

## 交通

高等学校 全学年 特別活動（学校行事）

授業づくりのポイント

- 生徒のヘルメット着用の意識を高め、ヘルメットの着用に対する抵抗感を軽減するための講習を行う。
- 関係機関と連携し、ヘルメットの重要性及び交通安全への願いについて講話を行う。
- スクエアード・ストレイト方式の自転車交通安全教室を実施し、交通事故の危険性とともに頭部を守ることの重要性について理解させる。

## 1 題材名

「命を守る行動を積極的に取ろうとする意識の育成を目指して」



## 2 目標

自転車の安全な利用・点検や整備について理解を深め、交通法規を守って安全な乗車ができるようにする。

## 3 教材化の視点

平成27年6月1日に施行された改正道路交通法で自転車の危険運転に対する指導が強化されことも踏まえ、自らも危険から命を守る行動を取るとともに、他者の命を守るために指導、加害者にならないための指導の徹底が必要であると考えた。

指導計画（3時間扱い）

時間	○主な学習活動	◎安全教育の視点に立った留意点
1	<p>○文化祭において、ゲストティーチャーのインタビューやダンス披露を交えながらヘルメット着用の重要性について話を聞く。</p> <p></p> <p>※自転車用ヘルメット普及啓発イベント 主催 東京都青少年・治安対策本部</p>	<p>○生徒のヘルメット着用に対する抵抗感を軽減するために、ゲストティーチャーによる講演を行う。</p> <p>○ゲストティーチャーとの事前打合せでは、楽しい雰囲気の中につつても交通安全に関する部分については真剣さを維持して話を進めてもらうよう、依頼する。</p> <p>○ゲストティーチャーが単独でダンスを披露した後に生徒が一緒に踊る場面を作る企画とすることで、一体感を味わう中でヘルメット着用の意識を高める。</p> <p>○講演会終了時に、希望者にヘルメットを無償で配布する。</p>

<p><b>2</b></p>	<p>○東京都青少年・治安対策本部総合対策部交通安全課の講師から改正道路交通法に関する自転車安全運転の講話を聞く。</p> 	<p>◎事前の打合せで、以下の内容について講師に依頼しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルメット着用の重要性に触れる。</li> <li>・高校生が陥りやすい事例について、具体的に触れる。</li> <li>・命の尊さや肉親の痛みなど、交通事故現場に携わり、肉親の思いを知る者ならではの、生徒の心に響く話を交える。</li> </ul>
<p><b>3 (本時)</b></p>	<p>○前時の交通安全講話における学習を踏まえながら、スタントマンによる交通事故時の衝撃実演を見学し、交通事故発生原因や危険性について理解する。</p>	<p>◎安全に見学できるように生徒の配置等に留意する。</p> <p>◎事前の打合せで、以下の内容について依頼しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒との質疑を取り入れ、参加意欲を高める。</li> <li>・事故を自分のこととして認識できるよう、代表生徒に体験させる。</li> </ul>

### 指導事例（第3時／3時間 特別活動〔学校行事〕）

#### 1 ねらい

- ・自転車に関する基本的な交通法規を知り、遵守への意識を高める。【II-2-③】
- ・自転車利用時に、被害者や加害者とならないために交通ルールを遵守することが重要であることや、思わぬ事故から自己の命を守る上でヘルメットが極めて有効であることを知り、着用への意識を高める。【II-2-①】

#### 2 ポイント

- ① 保護者の思い、命の大切さについて、校長の講話を聞く。
- ② 交通事故の悲惨さなどについて、講師から話を聞く。

切実感をもって、スクエアード・ストレイト型自転車交通安全教室に参加する。

生徒の主体的なヘルメット着用を促す。

#### 3 指導の実際

	○主な学習活動	◎支援・留意点 ■評価（評価方法）	
		◎支援・留意点	■評価（評価方法）
<p><b>導入</b></p>	<p>○本時のねらいを理解する。</p> <p>○スタントマンの紹介を聞く。</p>	<p>◎本時のねらいを伝え、今回の交通安全教室の目的や意義を理解させる。</p> <p>◎学習のねらいを十分に理解させ、真剣に取り組ませる。</p>	

	<p>○スタントマンによる衝突実演を見学する。 〔実演内容〕</p> <p>①時速40kmで走行する自動車と自転車との衝突</p> 	<p>○普段の通学時の運転を振り返り、歩行者・運転者の両面から自身の問題として捉えさせる。</p>
展開	<p>②違反自転車大集合（6つの違反）</p> <p>③飛び出し自転車がオートバイと衝突</p> <p>④トラック左折における自転車の巻き込み</p> <p>⑤傘差し2人乗り自転車の歩行者跳ね飛ばし</p> <p>⑥路側帯の説明</p> <p>⑦車の死角での横断歩道上の事故</p> <p>⑧自転車通行可の歩道における衝突事故</p>	<p>○衝突事故がどれほどの衝撃を受けるのか、衝突時の音や事故後の自転車の破損状況を見せて実感させる。</p> <p>○代表生徒が対応している場面では、自己に置き換えて考えるようにさせる。</p> <p>○具体的な違反を見ることにより、自分が違反を犯していないか振り返らせる。</p> <p>○今後、自動車免許を取得し自動車を運転する者として、自動車ドライバーの立場から考えさせる。</p>
まとめ	<p>○本時を通して分かったこと、気付いたこと、今後注意すべき点などを教室に戻り、ワークシートにまとめる。</p>	<p>■交通ルールについての理解を簡単なテスト形式で確認し、危機意識をもって今後、交通安全に関して自分が心掛ける取組をワークシートにまとめている。</p> <p>○学習後に、ヘルメットを希望者に無償で配布する。</p>

#### 4 生徒の感想から

今回の講演を聞いて、今まで以上に安全への意識が高まりました。歩行者が多い歩道では、自転車を降りて歩いたり、信号待ちのときは、大きく3歩下がって待つたりしようと思いました。これを機に交通安全を見直し、正しく自転車に乗ろうと思います。

横断歩道を渡るときや交差点を曲がるときは、視界が狭くなるので気を付けてください。特に自転車に乗るときは、今回学んだことに気を付けていきたいと思います。また、ヘルメットの重要性もよく分かりました。普及率が上がるといいと思います。

#### 生徒の変容

自転車用ヘルメット普及啓発イベント、スケアード・ストレイトの公開授業を通じて、ヘルメット配布を希望する生徒が150名を超えるとともに、生徒は積極的に着用して登校するようになった。スケアード・ストレイトの事後学習のワークシートの記述から、交通安全意識の高まりが感じられる感想・意見を述べる生徒も多く見られた。一連の学習が「命を守る行動を積極的に取ろうとする意識の育成」に大きく寄与した。